いいくらし、いいあした。



ご説明する内容

- 1. 2Q業績の概要
- 2. 消費税増税・キャッシュレス還元対策
- 3. 原信ナルスの営業政策
- 4. 業績予想



1. 業績概要

(単位:百万円)

項目	2018/9	2019/9	増減率	備考
売 上 高	118,405	118,664	+0.2%	既存店△0.6%
売上総利益	33,633 (28.4%)	33,671 (28.4%)	+0.1%	前年6.7月の猛暑反動があるも 前年同期の総利益率は維持
販管費	28,969 (24.5%)	29,104 (24.5%)	+0.5%	パートナー6時間勤務増加で法 定福利費増加 増税対応関連費用
営業利益	4,664	4,566	△2.1%	予想47億円
経常利益	4,741 (4.0%)	4,696 (4.0%)	△0.9%	予想48億円
四半期純利益	3,120	3,110	△0.3%	予想32億円
開店店舗数	1	O	新店:無し	
閉店店舗数	1	1	閉店:旧、N直江津東 改装:H岩上(柏崎市) F片貝(前橋市)	



参考:グループ別の業績推移

(単位:百万円

	原	信ナルス	•	フレッセイ			
	2019/9	増減率	増減額	2019/9	増減率	増減額	
売上高 (既存店)	81,936	+1.1% (△0.3%)	+878	37,144	△1.1% (△1.7%)	△410	
売上総利益	22,709 (27.7%)	+1.0%	+215	11,050 (29.7%)	△1.3%	△142	
販管費	19,211 (23.4%)	+0.8%	+153	10,009 (26.9%)	riangle 0.2%	△19	
営業利益	3,498 (4.3%)	+1.8%	+61	1,040 (2.8%)	△10.6%	△123	
経常利益	3,621 (4.4%)	+3.5%	+123	1,050 (2.8%)	△10.6%	△124	
四半期 純利益	2,448 (3.0%)	+4.4%	+103	695 (1.9%)	△7.8%	△59	



Щ<u>і</u> 店舗配置の状況 佐渡 米沢 磐梯朝日 国立公園 店舗数 79店 売上高1,596億 **NARUS** 新潟県 会津若松 珠洲 71店舗 輪島 福島県 **FRESSAY** 七尾 店舗数 51店 売上高 739億 高岡 富山県 金沢 群馬県 3店舗 白山 富山県 46店舗 長野県 石川県 栃木県 5店舗 埼玉県 2店舗 長野県 売上高は2019年3月期 3店舗

食品スーパー売上高ランキング(公開企業)

(単位:百万円)

1	東京	ライフコーポレーション	698,693	14	福岡	マックスバリュ九州	177,499
2	東京	U.S.M.H	694,323	15	北海道	マックスバリュ北海道	129,281
3	岐阜	バロー HD	565,931	16	岡山	ハローズ	127,323
4	北海道	アークス	512,246	17	兵庫	関西スーパーマーケット	123,649
5	埼玉	ヤオコー	435,085	18	東京	エコス	121,142
6	広島	マックスバリュ西日本	274,937	19	山形	ヤマザワ	110,688
7	和歌山	オークワ	265,116	20	愛知	アオキスーパー	106,214
8	東京	いなげや	251,655	21	埼玉	マミーマート	105,351
9	新潟	アクシアル リテイリング	235,347	22	秋田	マックスバリュ東北	103,265
10	日口	リテールパートナーズ	229,066	23	愛知	ヤマナカ	97,051
11	静岡	マックスバリュ東海	227,795	24	富山	アルビス	82,215
12	埼玉	ベルク	225,523	25	北海道	北雄ラッキー	41,132
13	愛知	マックスバリュ中部	178,543	26	香川	マルヨシセンター	40,115

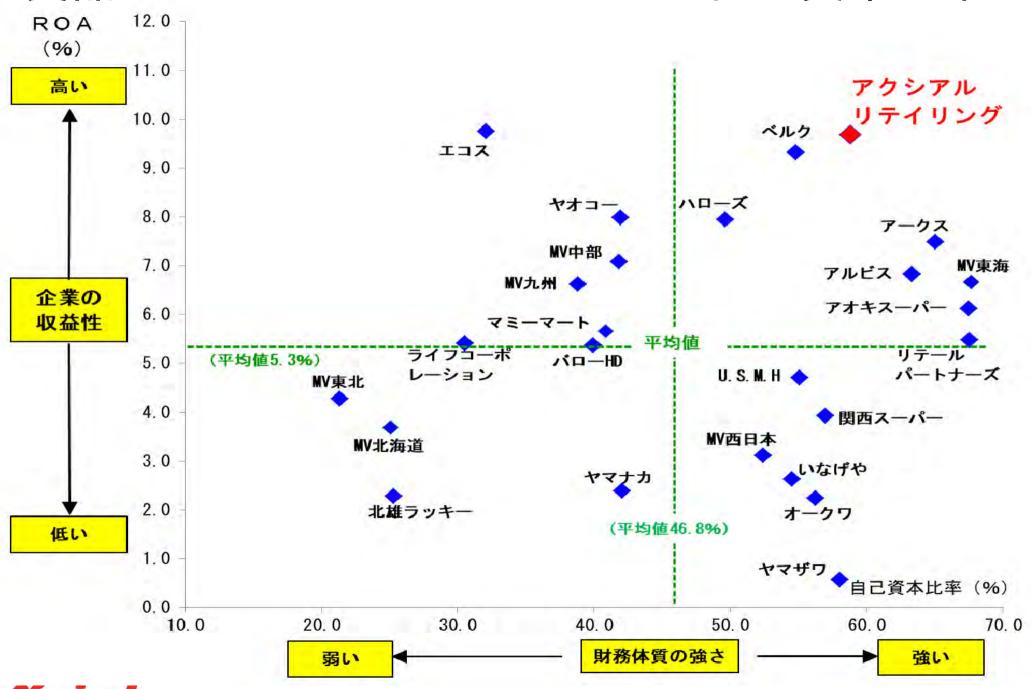
食品スーパー経常利益ランキング(公開企業)

経常利益高ランキング (百万円) 経常利益率ランキング (%)

			i		Ti control of the con	1	
1	埼玉	ヤオコー	17,488	1	埼玉	ベルク	4.6
2	北海道	アークス	16,405	2	新潟	アクシアル リテイリング	4.1
3	岐阜	バロー HD	16,091	3	埼玉	ヤオコー	4.0
4	東京	ライフコーポレーション	12,831	4	岡山	ハローズ	3.9
5	東京	U.S.M.H	12,253	5	富山	アルビス	3.7
6	埼玉	ベルク	10,370	6	東京	エコス	3.3
7	新潟	アクシアル リテイリング	9,698	7	北海道	アークス	3.2
8	山口	リテールパートナーズ	5,574	8	埼玉	マミーマート	3.1
9	岡山	ハローズ	4,937	9	岐阜	バロー HD	2.8
10	静岡	マックスバリュ東海	4,877	10	山口	リテールパートナーズ	2.4
11	東京	エコス	4,030	11	静岡	マックスバリュ東海	2.1
12	愛知	マックスバリュ中部	3,394	12	愛知	マックスバリュ中部	1.9
13	埼玉	マミーマート	3,223	13	兵庫	関西スーパーマーケット	1.9

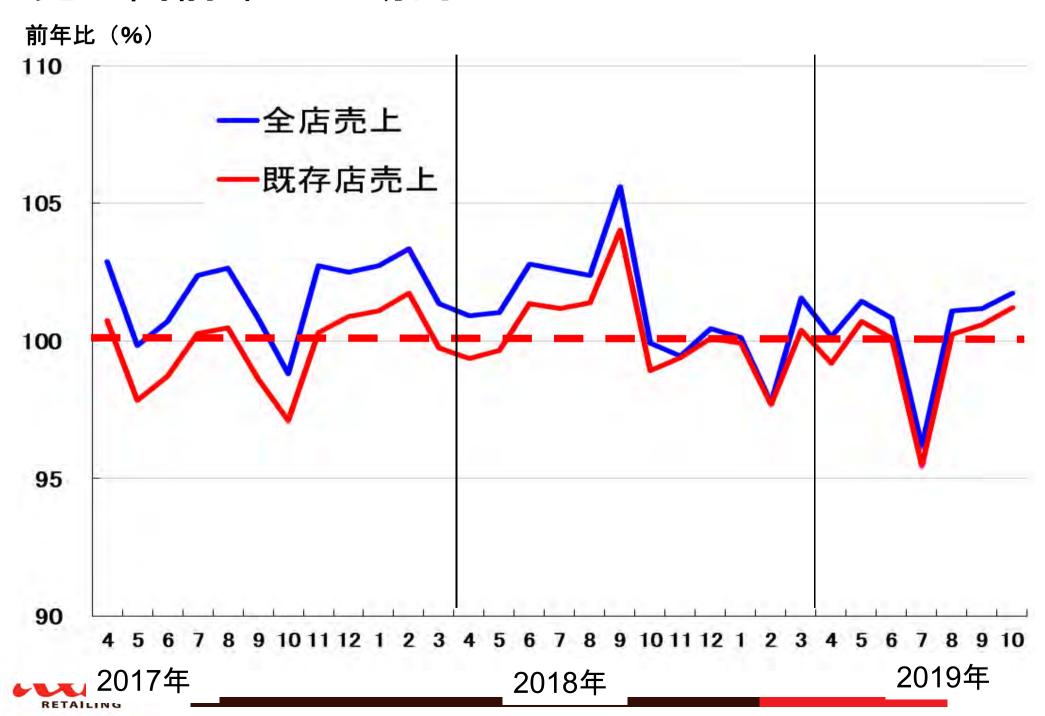


食品スーパーマーケットのROAと自己資本比率



「いちよし経済研究所」様作成の図表をアップデート)

売上高前年比の動向



2. 消費税増税・キャッシュレス還元対策

混乱 と 競争激化

<対応方針>

- ①アクシアルの良さを伝える
- 2 商品とサービスの磨き込み
- ③ 新時代への挑戦

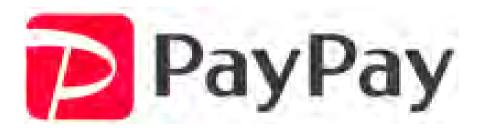


消費税増税・キャッシュレス還元



いつでも、安い。 パワープライス。













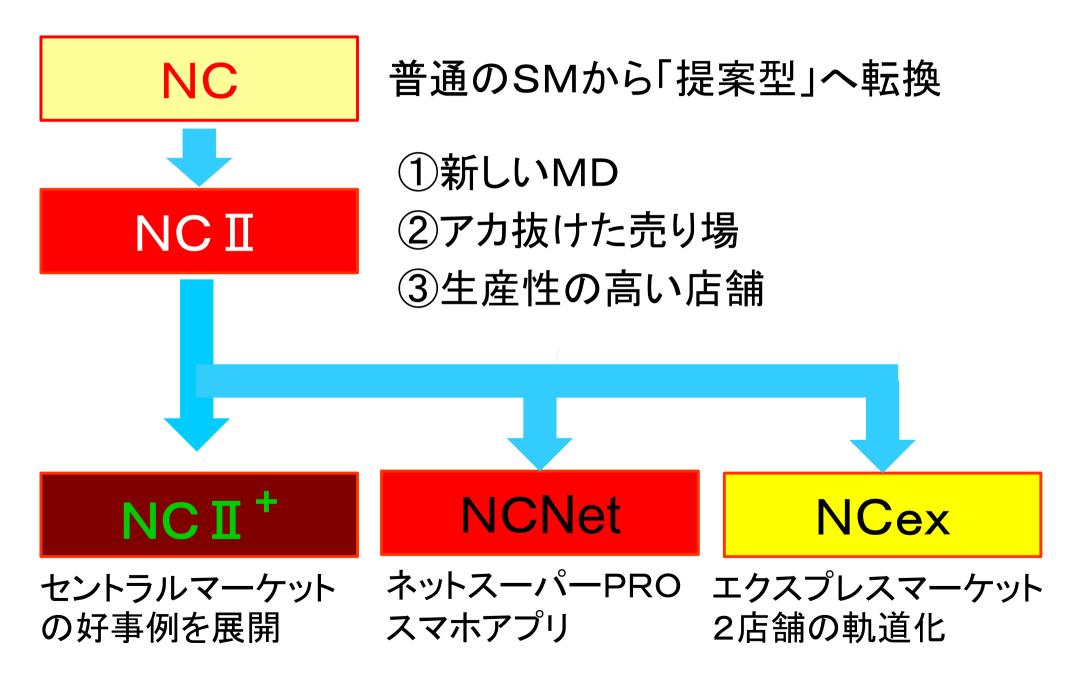








3. 原信ナルスの営業政策





NCI+ セントラルマーケットの良さの水平展開



365 Sidedish

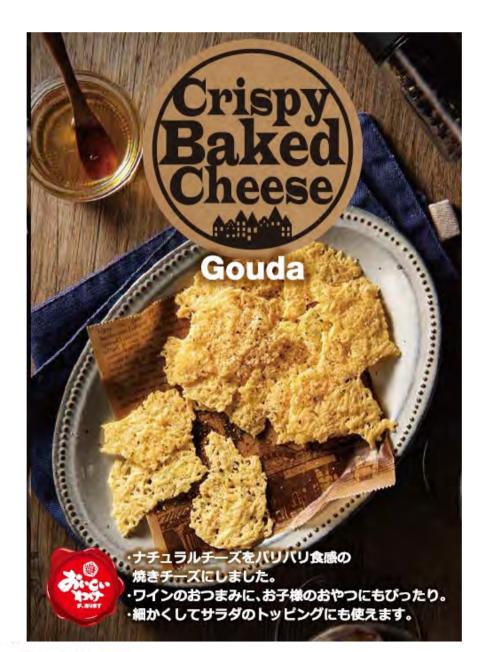
365 サイドディッシュ

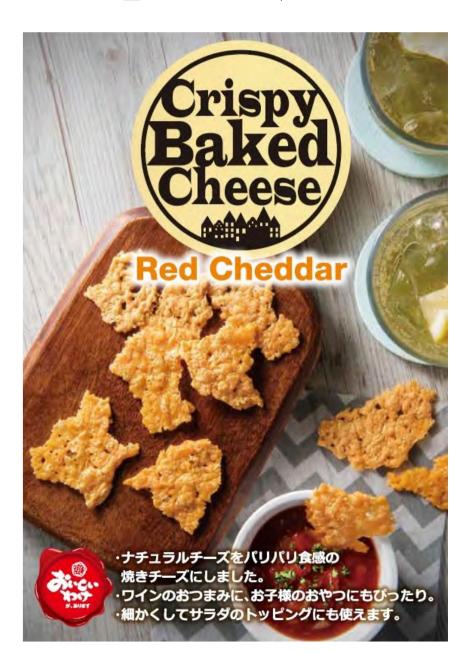


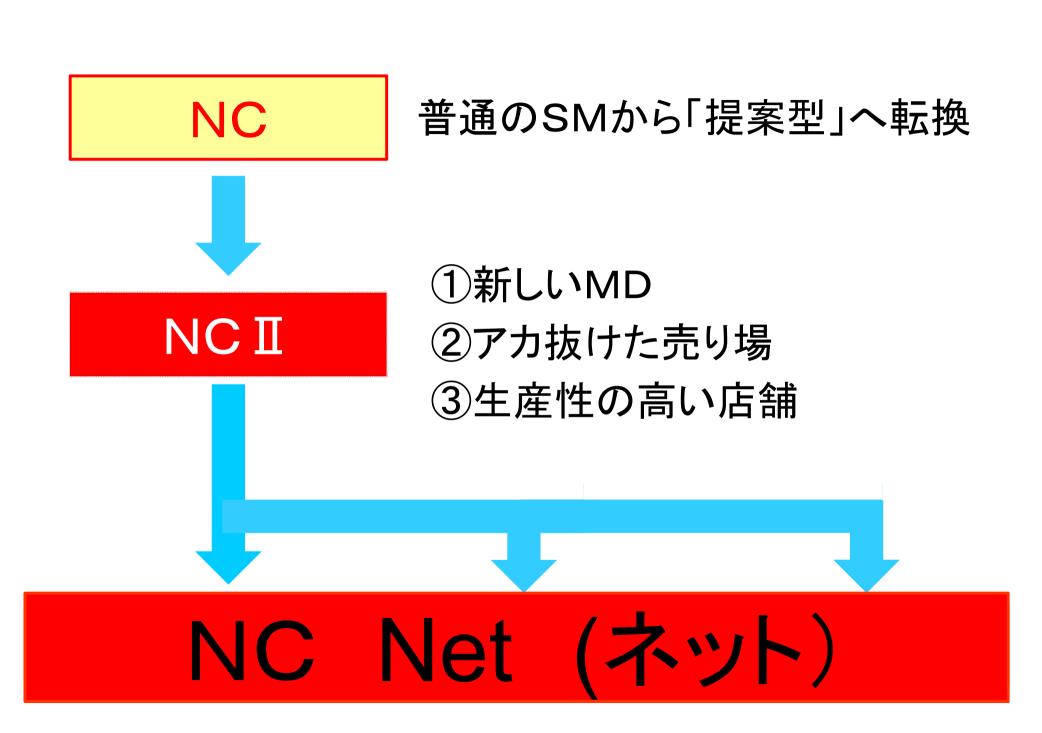
NC II + (セントラルマーケット)

販売好調!

「クリスピーベイクドチーズ」全店展開開始







10月 原信ナルス アプリスタート!





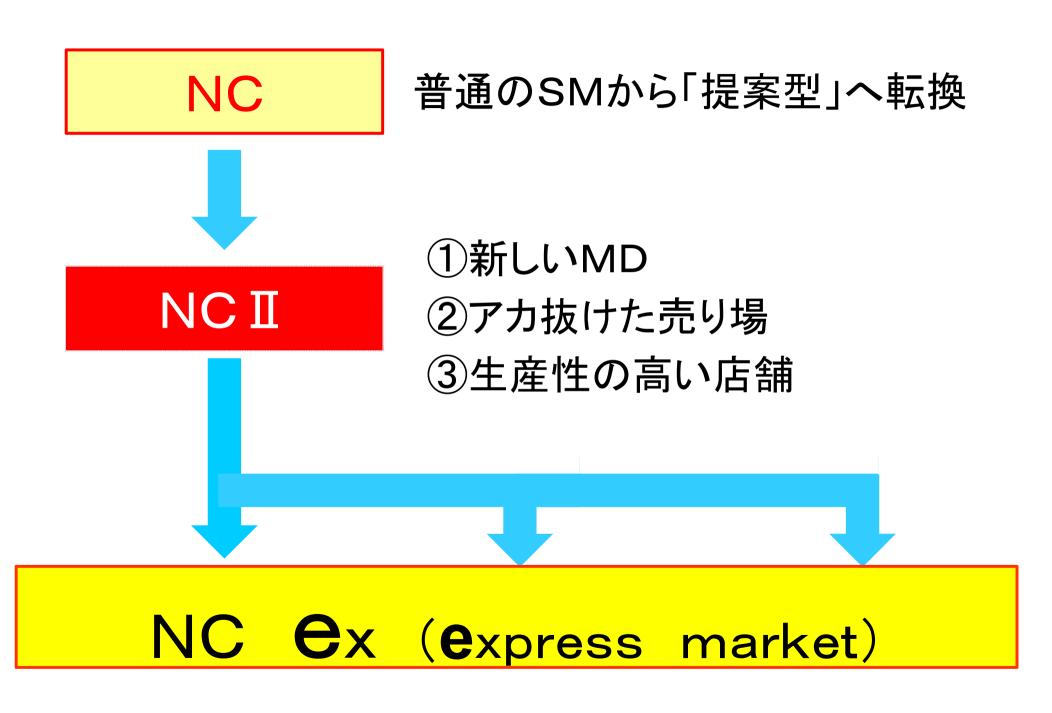
選べる2つのお届けサービス!原信より便利な@原信

早くて便利なお届けサービス

品揃え豊富で大満足。 業者の方の仕入にも!







(1)NCII,NCII+

品揃えの拡充は強みであり、弱点

多店舗出店:小商圏化、軽装備、高生産性

(2)一方、これからのSMに必要な機能は?

×小型化

(3)エクスプレスマーケットのコンセプト

簡便

快適

生産性









簡便

快適

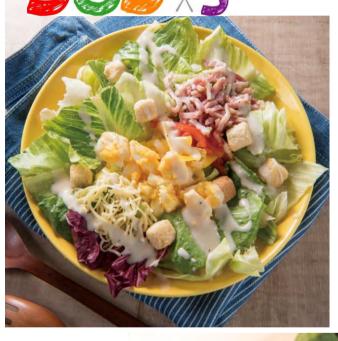
生産性



高齢化十女性の社会進出

=『健康』『簡単・便利』











『魚菜屋』"調理魚"で健康、簡単便利



だし香るシリーズ (全85SKUへ拡充)













































だし香るシリーズ (全85SKUへ拡充)









スマートミール ☆☆☆(三つ星)認証



Smart Meal スマートミール



栄養バランスを考えて 「ちゃんと」食べたい女性や 中高年男性におすすめです。

原信の生姜焼き弁当はスマートミールの

	白米	雑穀米
エネルギー	544kcal	553kcal
たんぱく質	19.0 g	19.2 g
脂質	17.8 g	17.9 g
飽和脂肪酸	6.3 g	6.3 g
炭水化物	73.5 g	75.2 g
食塩相当量	2.1 g	2.1 g

「スマートミール」とは…

「ちゃんと」の基準に適合しています。

一食の中で、主食・主菜・副菜が揃い、野菜が たっぷりで、食塩の取り過ぎにも配慮した健康 的な食事のことです。

複数の学協会からなる「健康な食事・食環境」 コンソーシアムが審査・認証を行なっています。

スマートミールの詳細はこちら→

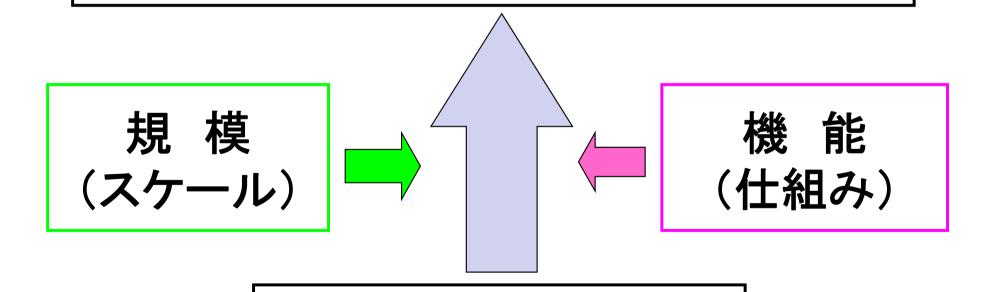


◆スマートミール1食当たり基準

	食品等	「ちゃんと」の基準 400~650kcal未満	「しっかり」の基準 650~850kcal
主食	飯、めん類、パン	飯の場合 150~180gが目安	飯の場合 170~220gが目安
主菜	魚、肉、卵、大豆製品	60~120gが目安	90~150gが目安
副菜	野菜、きのこ、いも、海藻	140g以上	140g以上
食塩	飯、めん類、パン	3.0g未満	3.5g未満

4. アクシアルのめざすもの

チェーンストアによって お客様の毎日の生活に 豊かさ、楽しさ、便利さを提供する



人材:基盤はTQM



くビジョン>

2009年版 Advanced Regional Chain

ローカルチェーンから優良な広域チェーンへ

I 日本一のサービス

Ⅱ 200店舗構想

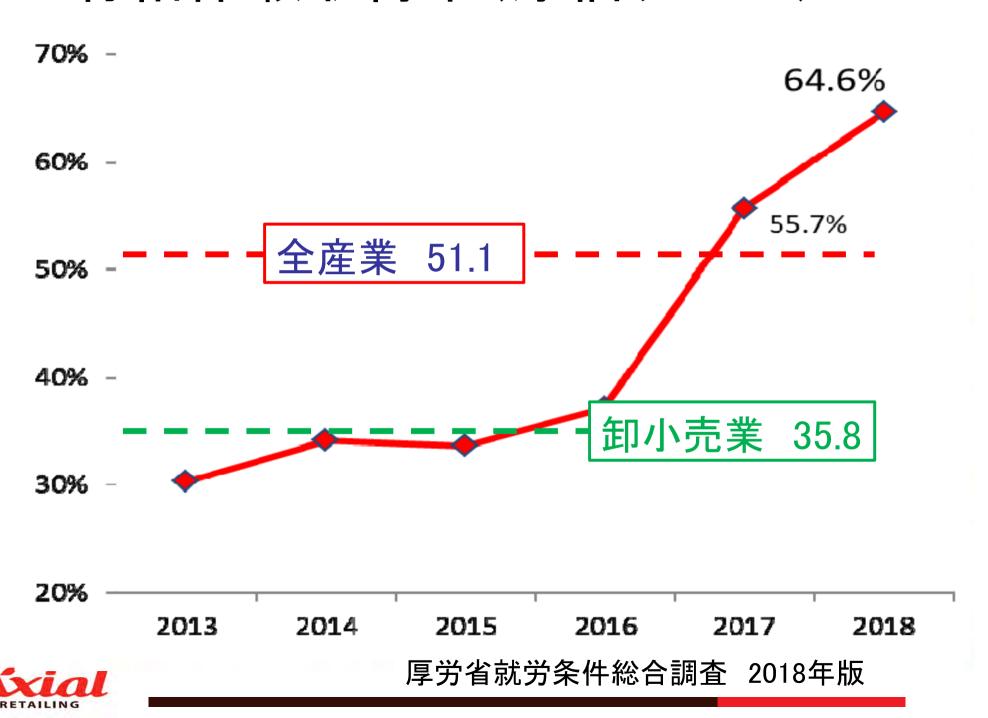
Ⅲ 信頼構築

新たなビジョン策定へ

イノベーション推進部を新設



有給休暇取得率(原信ナルス)



中期経営計画(2019~2021)

- 1. 出店政策 ~標準フォーマットの確立
 - •地域を絞って集中的に出店する戦略の深耕
 - ・一定のスクラップ&ビルド(再配置)、改装の実施
- 2. 商品政策~原信ナルス、フレッセイ、それぞれの進化
 - •新たなMDの深耕と定着
 - ・ESLPの推進 ・(消費税増税対応)
- 3. 店舗オペレーション
 - 生鮮部門の作業割当、人員配置再編
- 4. 物流全体最適
 - •PC・コミッサリー体制の軌道化と機能拡張
- 5. ネットSM等の再構築



中期経営計画(2019~2021)

数値目標

	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	2,390億	2,450億	2,520億
経常利益率	4.0%	4.0%	4.1%
開店店舗数	3	4	4
閉店店舗数	3	2	1
期末店舗数	129店舗	131店舗	134店舗
設備投資額	46億	66億	61億



当期業績予想

(単位:百万円)

項目	連結	増減率	グループ別の目安				
坎 口	建加 情观学	上日 //以 行	HN	増減率	F	増減率	
売上高	237,000	+0.7%	162,000	+0.3%	75,000	+0.7%	
営業利益	8,400	△11.8%	6,141	△12.8%	2,052	△12.2%	
経常利益	8,500	△12.4%	6,244	△12.9%	2,053	△13.7%	
純利益	5,600	△12.9%	4,200	△14.4%	1,400	△8.2%	
開店	3	}	2	<u>)</u>	1		
1株配当	72円¦		設備投資計画額50億、減価償却費44億				

予測	2019年3月期 実績			2019年3月期 実績 2020年3月期 予想		
前提	(上期)	(下期)	(通期)	(上期)	(下期)	(通期)
全 店	+2.5%	△0.1%	+1.2%	+0.1%	+0.4%	+0.2%
既存店	+1.1%	△0.6%	+0.3%	△0.6%	△1.0%	△0.8%
			1 旦 単 価 100 0 0		当価100 5	



いいくらし、いいあした。

